

リ サ イ ク ル 計 画 書 (積算段階)

工事担当者が作成し、設計書に添付

1. 事業（工事）概要

発 注 機 関 名	千葉県千葉土木事務所	工 事 名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事（実歩道整備工その2）
施 工 場 所	主要地方道 長沼船橋線	工 期 （ 予 定 ）	契約日の翌日から230日間
工 事 概 要 等	工事延長L＝59m、歩道整備工A＝214m ² 軽量盛土工V＝125m ³ 、壁面工A＝119m ² 切削オーバーレイ工（2層）A＝374m ²		

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現場内利用量	③ 再生材利用量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備 考
土 砂	201.7 地山m ³	49.9 地山m ³	地山m ³	地山m ³	24.7 %	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	126.7 トン	トン	126.7 トン	トン	100.0 %	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥) × 100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩) / ⑥ × 100	備 考
建設発生土								
第1種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第2種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
第3種 建設発生土	201.7 地山m ³	49.9 地山m ³	地山m ³	地山m ³	151.8 地山m ³	%	100.0 %	
第4種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
泥土（浚渫土）	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
合 計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
コンクリート塊	44.0 トン	トン	トン	44.0 トン	トン	%	100.0 %	
アスファルト・コンクリート塊	118.4 トン	トン	トン	118.4 トン	トン	%	100.0 %	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	—	%	%	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

⑤泥土（浚渫土）・・・浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

※ 建設汚泥、建設発生木材の、「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。

※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。